耐震強度検討書(アンカーボルト) インバータマルチエアコン フリープランシステム熱源ユニット(WR2シリーズ) 2. 形名= PQRY-P224 · 280 · 335SCM-E 3. 機器諸元 (図1参照) (1)機器質量 (運転質量) W= 181 (2)アンカーボルト ①総本数 N= 4 本 10 形 ②サイズ・形状 =M 78 $78 \times 10^{-6} \text{ m}^2$ ③1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) A= ④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルトの総本数 2 Nt= 本 0. 467 m (3)据付面より機器重心までの高さ 467 mm= Hg= 506 0.506 m (4)検討する方向からみたボルトスパン mm= 1= $mm (Lg \le L/2) = 0.253 m$ (5)検討する方向からみたボルト中心から機器重心までの距離 Ι g= 253 4. 検討計算(各項の小数点以下2桁目を四捨五入して算出) (1)設計用水平震度 Kh= 2 0 (2)設計用鉛直震度 Kv=Kh/2= 1. 0 Fh=Kh·W·9. 8= 3547. 6 (3)設計用水平地震力 N (4)設計用鉛直地震力 Fv=Kv·W·9. 8= 1773.8 Ν $Fh \cdot Hg - (W \cdot 9.8 - Fv) \cdot Lg$ (5)アンカーボルトの引抜力 1637. 1 Ν I · N+ Q=Fh/N=886. 9 (6)アンカーボルトのせん断力 Ν (7)アンカーボルトに生ずる応力度 ①引張応力度 σ =Rb/A= 21.0 MPa < ft=176.4MPa ②せん断応力度 $\tau = Q/A =$ 11. 4 MPa < fs=132.3MPa ③引張とせん断を同時に受ける場合 fts' =1. 4ft-1. 6 τ = 228.7 MPa ただし、fts' ≦ftのときfts=fts', fts'>ftのときfts=ftであるので fts= 176. 4 MPa

 σ = 21.0 MPa

< fts=

(8)アンカーボルトの施工法

①アンカーボルトの施工法 ②コンクリートの厚さ

③ボルトの埋込長さ ④許容引抜荷重

= 箱抜き式J形アンカー 180 0. 180 mm= m 130 0.130 m mm= 5488 Rb= 1637 N

MPa

以上の検討結果よりアンカーボルトは十分なる強度を有する。 本検討書はアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。

176. 4

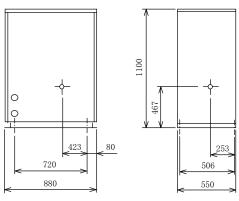


図 1

- X	二変电惯休式云红	作队日	09-03-03	仕様書番号	WYN BO-7146	副番	*

(1/1)HC2366. xls